

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

ような力なのでしょう。

歴史を振り返ると、イエス・キリスト、仏教の開祖ゴータマ・ブッダ、イスラームの預言者ムハンマドなど、多くの宗教的指導者たちは、数々の苦難や葛藤を経験しながらも、自らの信念を貫き、社会に大きな影響を与え続けてきました。そして、その教えは今もなお世界中の多くの人々に受け継がれています。一人の人間の決意と行動が、時代や国境を越えて広がっていったことを思うと、その精神の力の大きさに驚かされます。

夢や希望に向かって歩み続けるためには、困難に直面しても前に進む力が必要です。その力は、家族や友人、恩師など、支えてくれる人々から与えられることもあります。私自身は、キリスト教との出会いから大きな支えと力を与えられました。その出会いがなければインドで働くことはなかったと思います。アジアの農村で平和のために働くという「神様との約束」が困難な時にも私を支えてくれたのです。その約束がわたしにとっての原点となっています。

若い時期に、本当に信じられるものや、自分を支えてくれる愛や真理と出会うことは、その後の人生を大きく変える力になります。それは案外、みなさんの身近なところにあるかもしれません。ぜひ、自分にとっての支えや原点となるものを探してみてください。それは、迷いや苦しみに直面した時に、再び前を向く力になってくれるはずです。

【2026年度春期キリスト教教育強調週間の報告】2026年6月16日（火）

先週の春期強調週間の礼拝では、循環農学類の義平大樹先生からお二人の知的障がいのある息子さんとの出会いと歩み、その歩みを通して出会った聖書の言葉と信仰、農福連携という新たなお働きについて、心のこもったお話を伺うことができました。義平先生、どうもありがとうございました。

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

大学礼拝では学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。歌ってみたい学生は、礼拝後にオルガン前にお越しください。お待ちしております。

【次回の大学礼拝】2026年6月30日（火）10時40分

聖書 ペトロの手紙一 4章8節

奨励 「鋼の錬金術師——等価交換を超える」高橋優子（獣医保健看護学類教授）

讃美歌 「御名を掲げて」（日本語）、「Amazing Grace」（英語）

【前回の大学礼拝】2026年6月16日（火）

学生：148名 教職員ほか：10名 合計：158名

【大学礼拝週報】2026年度 第10号（前学期第10号）

2026年6月23日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《礼拝順序》

司式 小林昭博（宗教主任・循環農学類教授）
奏楽 佐藤理恵（日本基督教団野幌教会オルガニスト）
讃美指導 相原晴伴（農環境情報学類長・教授）

前奏 天にましますわれらの父よ（クリーガー作曲）
讃美歌 第一編 502番（いともかしこし）
聖書 ローマの信徒への手紙 5章 3-5節
さんび 酪農学園大学聖歌隊
奨励 「インドで考えたこと——宗教の力」三浦照男（インド・サンヒギンボトム農工大学継続教育学部長・教授）
祈り
讃美歌 第一編 536番（むくいをのぞまで）
報告
後奏 ふるい立て、わが心よ（グループナー作曲）

【本日の聖書】ローマの信徒への手紙 5章 3-5節（新共同訳）

3 そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、4 忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。5 希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

【奨励】「インドで考えたこと——宗教の力」

みなさんは、どんなふうに生きたいと思っていますか？

平和に、楽しく、「そこそこ幸せだな」と感じながら生きていきたい。そんなふうに考える若い方が多いのではないかと思うのですが、みなさんはいかがでしょう？

その一方で、「私にできるのだろうか」「何から始めればよいのだろうか」「誰に相談したらよいのだろうか」「必要な情報はどこにあるのだろうか」など、さまざまな不安が頭をよぎることもあると思います。ですから行動に移すためには、不安や困難を乗り越える「力」が必要です。それはどの